

スポーツ博物館のコンセプト(案)

例1) 日本のスポーツ発展の歴史を彩る貴重な資料群の後世への継承

秩父宮殿下関連資料をはじめ、日本の近代スポーツ発展の歴史に関連して収集された資料に加え、今後新たに収集する資料を一体的に活用するため、調査研究を通じて資料の持つ魅力を掘り起こし、展示等を通じて広く国民に伝えるとともに、後世に継承。

例2) スポーツ関係団体との連携によるスポーツ資料の収集・保存、活用

日本のスポーツ史を構成する重要な要素であるオリンピック・パラリンピック等に関する資料や、アスリートに関する資料について、日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会及び競技団体等と連携、協力し、資料の収集・保存、活用を推進。

例3) 未来を担う子供など幅広い国民にスポーツの魅力を伝え、豊かな社会を創出

ワークショップや体験プログラムなどを通じて、スポーツに関心の高い層だけでなく、未来の日本を支える子供たちや、これまでスポーツに関心のなかった方々など、幅広い国民にスポーツの歴史や魅力をわかりやすく紹介。

例4) スポーツ文化に触れる機会の充実

より多くの国民がスポーツ文化に触れる機会を提供するため、常設展示を中心とした館内サービスに留まることなく、教育普及活動や巡回展を通じた取組を推進。

例5) スポーツ文化の発展に必要な基盤(ネットワーク)を構築

特定の競技種目に限定していない日本で唯一の総合スポーツ博物館として、スポーツ資料を持つ全国の博物館等と連携し、相互のネットワークを構築することにより、情報交換や資料の相互貸出しなどを活性化させ、国全体としてスポーツ資料のアーカイブを充実・強化